

## 「あわじで虫とり名人になって シーカヤックにもちゃれんじ！」

- 趣 旨：親子で様々な体験活動にチャレンジする機会を提供し、親子の絆を深める。保護者には、子育てについて考える場を提供するとともに、ゆるやかなネットワークの構築を図る。
- 日 時：1回目（その2） 平成28年9月24日（土）12：30  
～25日（日）12：30  
2回目（その2の2） 10月15日（土）12：30  
～16日（日）12：30
- 場 所：国立淡路青少年交流の家
- 対 象：子どもとその保護者 15組、50名程度
- 参加者：1回目 20家族69名（保護者37名、子ども32名）  
2回目 18家族57名（保護者30名、子ども27名）
- プログラムの内容：

虫とりキャンプで「おやこちゃれんじ」その2 体験の嵐を おこそう

あわじで虫とり名人になって 虫も！

シーカヤックにもちゃれんじ！

日 時 平成28年9月24日（土）～25日（日）  
1泊2日 ※日帰りも可

場 所 国立淡路青少年交流の家、  
南あわじ市南淡日&G海洋センター

対 象 子どもとその保護者

定 員 15組、50名程度 ※先着順

参加費 大人1,340円、子ども（小学生）1,310円、  
4歳以上未就学児1,000円、3歳以下200円

申込み 申込書に必要事項を記入し、FAXまたはE-mailにて  
お申し込みください。9/16（土）まで

スケジュール

1日目（9/24）	12:30 受付開始	13:00 親子でむしとり	16:00 テントをたてよう	19:00 ナイトウォーキング	21:00 テントで宿泊
2日目（9/25）	9:00 シーカヤックに乗ろう	12:30 解散			

国立淡路青少年交流の家 〒656-0643 兵庫県南あわじ市阿万町高屋町 737-39  
TEL:0799-45-2689 FAX:0799-45-2463 E-mail:mail@nssm.or.jp  
F:0799-45-2689 URL:http://www.facebook.com/nssm.1122

### 1日目

#### 13:00～ 始まりの会

はじめて会う方も多く、どこから来たのか、2日間で楽しみにしていることは何かを、2日目の海で活動する4班に分かれて紹介しあった。今回の虫とりの講師、虫の達人のNPO法人こどもとむしの会（その2の2は竹田講師）の紹介もすると、子どもたちが待ち遠しそうに体をうずうずさせはじめた。

#### 13:30～ 虫とりにちゃれんじ

海側と山側に分かれて、虫の達人のお兄さん、お姉さんとともに虫とりを開始。最初は遠慮がちだった保護者も子どもたちの虫とりの熱意に感化されたのか、親子いっしょに虫とり網をもってトンボを追いかける姿が印象的だった。虫かごがいっぱいになってしまい、別の虫かごを貸してほしいと言ってくる子も。どの家族も夢中で虫とりを楽しんだ。室内に移動し、採った虫たちで手作り昆虫博物館づくり。こんなにたくさんの虫が捕れたのかと満足そうだった。



#### 16:00～ テント泊にちゃれんじ

テント泊をする家族が、それぞれのテントを親子で協力してたてた。子どもたちにとって難しいところは、ボランティアにも手伝ってもらいながらロープを張ったり、ペグを打ったり自分たちでできることを積極的にしようという姿勢がみられた。テントができると、うれしそうにテントと外を出たり入ったりしている子が見られ、その様子を笑顔で見ている保護者の姿が印象的だった。



#### 19:00～ ナイトウォーキング

昼間に捕った虫を1匹選んで、子どもたちの手で返すことに。夜の吹上浜、キャンプ場は昼間と違う雰囲気、普

段なかなかできない夜の道を歩くことができる子どもたちは興奮気味。親子で秋の虫の音色に聞き入っていた。研修室に帰ってきてから、外で聞いてきた虫はなんの虫かをあてるクイズをすると、ほとんどの子どもたちが元気よく「ハイ！」と手をあげて虫の名前を答えていた。



## 2日目

### 9:00～ シーカヤック、ストーンペインティングとプレスレット作り、遊びリンピックに ちゅれんじ

4班に分かれて順番にシーカヤックを体験。親子ともシーカヤックを初めて体験するという方が多く、ほとんどの子どもたちが怖がらず、「みーぎ、ひだーり！」と二人でかけ声を合わせ、だんだんとカヤックが上手に漕げるようになっていった。中には「まだやりたい！来年もまたやってね！」とスタッフに声をかける子もいた。空の天気も時間が経つにつれ青空が見えてきて、気持ちのいい風の中、シーカヤックを楽しむことができた。



海で遊ぶ順番を待っている間に、砂浜からお気に入りの石を拾ってきてその石にお絵かき。漁師さんが使う網を使って、プレスレットやストラップも編んだ。遊びリンピックは「おはしリンピック」を開催。お皿からお皿へ小豆や松ぼっくりをおはしで移す競争は親子で対決する姿も見られ、白熱した戦いが見られた。時間が経つにつれて天気もよくなってきて、10月にしては暑いほどの気温だったが、それぞれの遊びを親子で楽しんでいただけた。



## 7 参加者の声

- ・シーカヤックなど、なかなか体験できないプログラムが経験できました。
- ・ボランティアの方が優しく、細やかな配慮をしてくれました。
- ・子どもが、来年もシーカヤックの企画を楽しみにしています。
- ・魚釣りキャンプや、商店街、みんなでできるレクリエーションゲーム、野外炊飯をしてほしいです。
- ・子どもたちに良い体験を、今後もよろしくお願いします。

## 8. 所感

- ・前回に引き続き今回もキャンセル待ちが多く出たので、10月にその2を開催した。虫とりとシーカヤックの体験に魅かれてきたという家族も多かった。親子で体験するプログラムのニーズの高さを感じた。
- ・虫とりでお世話になったNPO法人こどもとむしの会の方や、虫に詳しい地元の方など、普段であれば接することのできない、子どもたちが憧れる大人と接する機会をもてたことがよかった。またそういう機会を提供できるという施設の重要性を感じた。今後も専門性をもつ大人、地元の方との連携が必要である。
- ・虫とりは、未就学児から小学生のお子さんをもつ家族にとっても人気が高い。初めて行ったシーカヤック体験も人気があった。今後も海や山に近いという立地を生かしてその魅力のプログラム化をはかり、広くみなさんに提供していきたい。

### 今後の「親子ちゅれんじ」の予定

③11.5～6 沼島探検、④12.17～18 文化体験、⑤ 3.19～20 企画中